

北海道ぎょれん広報

なみまるくん

5
2024

No.427



「うみ・なかまコミュニケーション」



特集

令和6年度
ぎょれん事業計画(案)～後編～

さくらます

北海道の長く厳しい冬が終わり、気温の上昇とともに多くの生命が躍動する季節がやってきましたね。

そして春は始まりの季節。駅にも爽やかな新入生、新入社員と思いき人たちが多く、忘れていた気持ちがいよみがえり、なんだか口元がほころびます。私も身も新学期を迎え、1回目の授業はなかなかの緊張感を味わいました。高校を卒業したばかりの学生もいれば、社会人入学をされて、再度、学びの道を歩み始めた人も。それぞれに希望と向上心を持って、同じ土俵に立ちました。教壇に立つ側も気持ちがいよみがえり、季節でもありません。

そんな季節にふさわしいとも

いえるおさかながあります。華やかで優しい味わい、どんな調理法でもおいしい「さくらます」。ヤマメの中でも川から海に下る降海型のおさかなですね。まさに春にふさわしい名前ですね。

おおよそ一年にわたり、大海原を旅し、たつぷりと栄養を蓄えたさくらますが川に戻ってくるその姿は川で一生を終えるものとは違って、大きく、やまめ模様もなくなり、銀色に美しく輝いています。数万キロを旅してきたその魚体はエネルギーに満ち溢れ、その身は大量の甲殻類プランクトンを食べているので美しいピンク色になっています。このピンク色はアスタキサンチンというカロチノイド色素で抗酸化作用が期待できます。

抗酸化！つまり老化を防いでくれる効果です。そのほか、美肌効果、筋力の向上など嬉しいこと尽くし！

春らしいおさかなを大いに食べて、体も心も元気に1年のスタートを切りたいものです。



坂下美樹
管理栄養士／調理師／製菓衛生師
現在、北海道新聞くらし面今日の1品執筆中。道新文化教室開催。H.T.B.イチャオシ出演中、ホクレンのFMZ等の料理制作など。料理教室はコロナ対策のうえ好評開催中。

01 みきさんのおさかなコラム 「さくらます」

02 特集1 令和6年度 ゑれん事業計画(案)～後編～

08 なみまるインフォメーション

10 浜の家族物語 稚内漁協／岡田 慎平さん ご家族

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 大漁祈願! 浜のほっとニュース

13 みなさんのお便りでつくるページ なみまる おたより箱



表紙の写真
おかだ しんべい
稚内漁協／岡田 慎平さんご家族です

地区ごとに様々な役割を果たす稚内港。ノシャップ岬にほど近い恵比須地区北船だまりは、地元では恵比須漁港と呼ばれ、中・小型漁船による沿岸漁業の重要拠点となっています

特集
SPECIAL

令和6年度 ぎょれん事業計画 ー後編ー



(3) 製品別販売の考え方

① 玉冷

- ア. 国内での消費拡大を重点とした取り進めの継続実施
- イ. 消費地需要期の販売口入抑制に向けたリパック体制の強化
- ウ. 需給バランス維持のための輸出の実施

② ボイル

- ア. 国内需要喚起および販路拡大
- イ. 東南アジア市場への輸出の実施

③ 生鮮ほたて

- ア. 活貝・生貝柱・生鮮むぎ身の業態別販売展開
- イ. 加工向け生貝柱供給による処理体制の確保

④ 乾貝柱

- ア. 生産供給体制
 - a. 安定消費かつ再生産可能な価格形成
 - b. 生産量の維持・増産に向けた通年稼働の取組
 - c. 格付を通じた品質向上に向けた取組
- イ. 消費地対策
 - a. 海扇会・香港七聯の販売機能を踏まえた海外戦略の実施
 - b. 香港・中国リスクに対応した、北米および東南アジア市場への販売強化
 - c. 円滑な消流に向けた供給体制の整備
 - d. 国内販路の維持・拡大

⑤ ボイル柱

- ア. 流通対策、宣伝事業と連動し、認知度向上と商品定着化を図る

先月から2カ月にわたり、ぎょれんの令和6年度事業計画をご紹介します。

今月は、販売事業のうち、ほたて・昆布・鮮魚に関する事業と、末端加工製品、食の安全・安心対策、宣伝販促・食育事業、購買事業、経営体制の計画についてお伝えします。

令和6年度事業計画

販売事業について

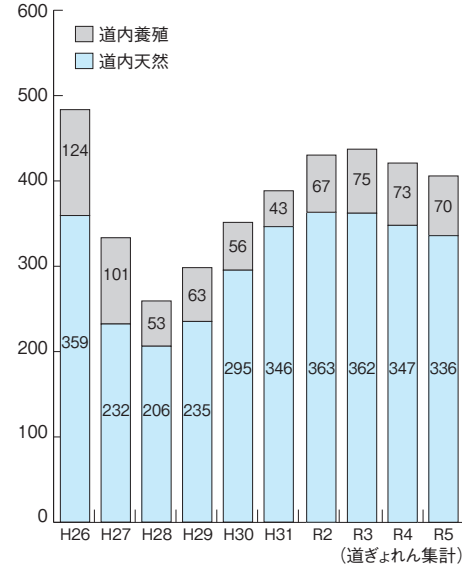
1. ほたて

令和5年度の全道ほたて水揚げ数量は41万トンとなり、近年は安定的な水揚げが続いています。しかし、海洋環境や社会情勢はめまぐるしく変化しており、安定した生産・加工・流通を図るためには、状況の変化に対し迅速かつ柔軟に対応する必要があります。

生産面では、へい死の発生や貝毒の高毒化、高水温化など、安定生産の基盤を揺るがす課題が山積しており、これらの原因究明や対応策の確立が必要不可欠な状況となっています。加工面では、人手不足による労働力の低下に加え、中国の禁輸措置を受け原貝仕向けに変化が生じており、処理能力不足が懸念されています。

流通面では、依然として輸出動向が不透明であり、円滑な消流に向けては、昨年以上に日本国内での消費拡大が必須の状況です。これらを踏まえ、引き続き的確な情報収集

(単位:千トン) ほたて貝水揚量推移



2. 昆布

令和5年度の昆布生産量は12,000トン台に留まり、依然として低水準の生産が続いています。

要因は、天候不順、働き手不足等多岐に渡り、容易に解決を図れるものではないですが、研究機関とも連携し、生産の維持・安定化に向け各種対策を推進します。

また、減産の影響から市場は縮小傾向にあり、流通も不安定な状態が続いています。宣伝・販促等、各種施策を通じ、安心して生産・消費に取り組める環境づくりを目指します。

(1) 生産振興対策

- ① 資源減少対策
 - ア. 各地域で行う増産対策への参画・支援
 - イ. 種子保存による長期的な生産維持体制の構築
 - ウ. 生産意欲向上に資する安定価格の形成

を行い、状況に応じた対策を講じていきます。

(1) 生産対策

- ① 水揚げ対策
 - ア. 原貝の全道広域流通化による円滑な水揚げ体制の維持
 - イ. 生産動向・消流状況の把握と再生産可能な原貝価格の確保
- ② 貝毒対策
 - ア. 北海道ほたて流通食品協会と連携した安全性の確保に向けた管理ルールの遵守
 - イ. 消流の多様化や貝毒の高毒化に対応したルール見直しの検討
- ③ 生産基盤整備対策
 - ア. 北海道ほたて漁業振興協会・道総研と連携した各種試験調査の実施
 - ④ MSC認証
 - ア. 道産ほたてのブランド化戦略の一環として、国内・海外市場での販路拡大

(2) 流通対策

- ① 国内対策
 - ア. 原貝の広域流通対策と連動した製品供給体制の整備
 - イ. 消費拡大に向けた流通対策・宣伝事業の実施
- ② 輸出対策
 - ア. 需給バランス維持のための一定量の輸出の促進
 - イ. 市場調査による海外の消流状況や生産動向の把握と情報発信

成

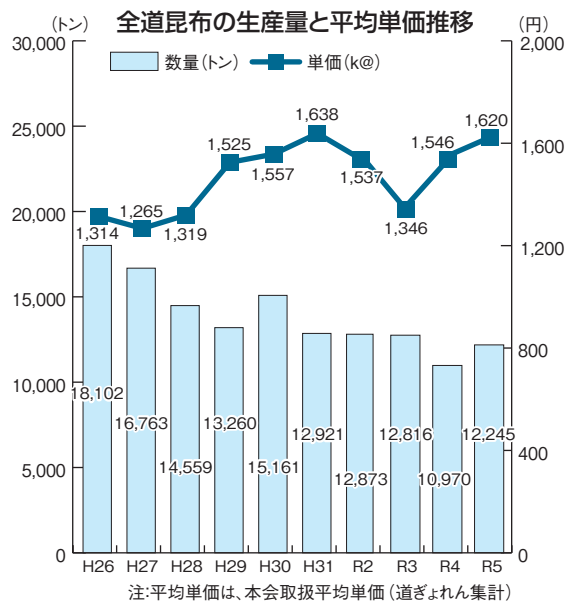
- ② 昆布製品の生産効率向上
- ア. 生昆布製品化事業の継続

(2) 流通対策

- ① 国産昆布の安定消流
 - ア. 価格の底上げ、市場の維持・安定を目的とした価格の設定
 - イ. 各銘柄の消費喚起に向けた宣伝・販促活動の実施
 - ウ. 流通実態の掌握
 - エ. 道産昆布輸出の模索
- ② 品質向上対策
 - ア. 異物混入防止対策の実施

(3) 輸入昆布

- ① 国内昆布市場の堅持
 - ア. 国内の市場規模維持に向け、一定量の搬入を実施



3. 鮮魚

令和5年度の鮮魚の消流は、外食需要が段階的に回復したこともあり、コロナの影響を受けていた貝類等の刺身商材の消費も伸びしました。

一方で、かれい類やしん等の大衆魚種においては、「人口減少」「魚食離れ」「市場機能の低下」等により水揚げが増加すると早期に浜値が下落する状況となっています。また、ALPS処理水放出による中国禁輸の影響で、すけそう、真だら等、中国ルートを主体に販売していた魚種においては未だ予断を許さない状況が続いています。

この状況に対し鮮魚流通対策事業では、系統鮮魚を中心とした日配鮮魚の販売を強化するとともに、国の平準化事業も活用した原料凍結による浜対策を実施する等、関係機関と連携して対応し、浜値の底上げと消費促進に向けた取組を継続的に実施してきました。

本年度は引き続き浜の要望を踏まえ、生鮮販売の強化を図るとともに、突発的な水揚げに即応できる凍結体制の再構築と販売の強化を図り、魚価と流通の安定に向けた取組を推進します。

(1) 生鮮事業

- ①消費地、産地支店との情報共有を強化し、日配鮮魚の販売拡充
- ②水揚げ増加傾向にある魚種の生鮮販売の強化
- ③加工原料向けとしての原魚販売強化を図

食の安全・安心対策について

食品の安全性に対する社会的関心は常に高まっていますが、食中毒事故や不正表示事例等が後を絶たない状況にあります。

関連する法令も強化される一方であり、食品事業者の社会的責務は従前にも増して重く、正しく適正な対応が求められています。

また、産地市場の水揚げ捌等に関するHACCP管理が義務化されています。他国への水産物輸出においても水揚げ施設登録や水揚げ履歴管理が求められるなど、新たに求められる対応が増加しています。

これらへの対応を含め、道産水産物流通の起点となる産地市場の衛生管理向上を図るべく漁協市場施設の点検を行うとともに、関連する情報について適宜発信し道産水産物の安全・安心確保に努めます。

さらに、本会グループが製造販売する商品の品質管理についても万全を期すところであり、各種管理施策を強化し安全・安心な商品供給を維持します。

(1) 産地市場点検業務（北海道産地市場衛生管理高度化検討委員会事業）

各種点検により産地市場施設の衛生管理の維持向上を推進します。
令和6年度 事務局による現地点検対象：小樽、室蘭管内の各市場施設
※その他地区は自主点検

り、安定流通に向けた取組の強化

(2) 冷凍事業

- ①突発的かつ集中水揚げ時に対応しうる原魚凍結体制の強化
- ②国内、輸出両方を見据えた原料販売の強化
- ③多様化する消費者ニーズに即した高次加工品の販売拡充（IQF、刺身、骨取り製品等）

4. 末端加工製品

末端加工製品については、日々変化する消費者ニーズはもとより、食品を取り巻く製造環境や社会情勢の変化、水揚げ魚種の変動、世界的な物価上昇からくるコスト高等の様々なシーンに即応する対策が求められています。

特に消費者ニーズについては、日々の環境、社会の変容、世界情勢が複合的に関わり、変化するスピードが年々早くなっています。

これらに対応しながら、北海道産水産物のさらなる価値向上と消流の安定化に取り組みます。

(1) 末端製品販売対策

- ①業態別販売戦略の継続（宅配、量販店、業務筋）
- ②上記業態に即した商品開発の推進
- ③多様な水揚げ環境に即した商品開発の推

(2) 本会グループにおける品質管理施策の拡充

- ①定期工場点検の実施と課題検証
- ②関係法令の正しい理解と適確な運用
- ③商品苦情の分析検証と改善策
- ④全グループ職員（関連会社社員を含む）への教育啓蒙
- ⑤適確な商品仕様書管理

宣伝販促・食育事業について

宣伝販促事業については、物価高騰により消費者マインドの落ち込みが懸念されるなか、変化する社会情勢・消費動向に柔軟に対応した広告宣伝・販売促進活動を展開し、各魚種の露出増加を図ることで購買意欲の促進に繋げるとともに、本会の企業価値や認知度向上にも繋がるような発信を複合的に展開します。

食育事業については、「海の豊かさを守る」ことを念頭におき、数十年先の「食」の未来を見据え、若年層を中心としつつ、世代間を超えた事業を展開します。また、一方的な情報発信に止まらず、触れる・調理する・食べるといった実体験を通して道産水産物の魅力の伝達を図ります。

進

- ④販売スケジュールに即した商品開発の推進
- ⑤本会製品のさらなるブランド化
- ⑥海外委託加工による安定的な一次処理加工の確保とコストダウン
- ⑦海外加工による末端商品の新規取扱（国内加工の補完）
- ⑧末端商品の海外販路開拓、商品開発
- ⑨B to C 事業向け商品の拡充

※B to C : Business to Consumer
企業が一般消費者を対象に行うビジネス

(2) 末端製品製造対策

- ①グループ全体で連携した原料集荷の継続
- ②一次処理工程の海外加工拡大
- ③グループ工場への機器導入促進継続（省人化・人的補完）
- ④製品製造の効率化継続（アイテム整理等）
- ⑤製造原価上昇に伴う適切な価格設定（価格改定）

(3) 社会情勢に対応した企業価値向上の取組と販売圏い込み戦略

- ①工口資材への転換継続、数値化での意識改革
- ②エコラベル認証商品の拡充継続
- ③本会HPやSNSを活用した、SDGsへの取組、ステークホルダーに対する情報発信の強化
- ④広告宣伝活動などと連携した効果的な販売促進活動の展開



北海道日本ハムファイターズの新球場で
道産秋鮭・ほたてメニューを提供

(1) 宣伝販促事業

- ①道産水産物の売場確保及び拡大に向け、道産水産物の優位性などを訴求した効果的な宣伝活動の推進
- ②レシピ・調理手順動画など、SNS・インフルエンサー等を効果的に活用し、消費者の購買意欲の向上・喫食機会の創出に向けた情報発信
- ③本会SNS公式アカウントによる情報発信のさらなる強化によるユーザーの囲い込み（本会ファンやフォロワーの獲得）
- ④MSC／MEL 漁業認証取得の優位性や地産地消の促進を積極的に打ち出すなど、SDGs の観点に立った情報発信
- ⑤生協共同購入・量販店等において、さらなる販促支援及び自家消費定着、取扱の伸長を目的に様々なツールで情報発信強化

- ⑥異業種企業とタイアップした共同販促の実施
- ⑦インバウンド及び海外現地消費者に向けた消費喚起施策の実施
- ⑧各種イベントへの積極的な参画による露出及び喫食機会の創出

（2）食育事業

- ①「北海道の水産業」全体の価値を向上させるべく、広く普及啓発を図る。
- ②本会の公式SNSアカウントを活用し、本会CSRと連動させた食育事業の継続的な発信と活用
- ③秋鮭・ほたて・昆布の各協議会と連携した食育事業
- ア・次世代の食産業を担う調理師や栄養士を目指す学生に対し、北海道水産物の優位性を訴求する食育講座を継続実施
- イ・札幌市内保育園・幼稚園での食育講座及び保護者向けセミナーの実施

購買事業について

漁業コスト軽減に向けた系統ブランド資材の新規開発を進め、漁協系統購買機能の充実を図るとともに、Eコ資材の利用や廃プラスチック処理等のリサイクルを促進します。

【系統ブランド資材】

会議、展示即売会等の活動を通じ、良質廉価な漁業用資材の開発・普及を進め、既存資

材価格の牽制を図ります。

【漁具リサイクル】

刺網やプラスチック製品の回収を行い、その他漁業資材のリサイクル化を進めます。

【包装資材】

環境に配慮したEコ資材の提案と利用推進を進めます。

【漁業用燃油】

燃油取扱の系統利用率向上と燃油施設の整備を通じ、安定供給を進めます。

【施設・機器】

漁業者の作業省力化に貢献する機器の普及拡大を進めるとともに、AI等新技術の情報を収集し、水産分野への応用を進めます。

（1）系統ブランド資材

- ①重点品目（ベトナム製養殖籠）の取扱強化
- ②漁業者要望商品の新規開発、取扱推進
- ③定置資材の取扱推進と漁網リース活用

（2）漁具リサイクル

- ①刺網（ナイロン）・プラスチック製品（魚函、パレット等）リサイクルの継続実施
- ②他漁業資材（ロープ・養殖籠等）のリサイクルの事業化検討
- ③各種会議や部会等を活用した普及・啓蒙

（3）包装資材

- ①環境に配慮したEコ資材の情報収集や取扱の推奨

経営体制について

本道漁業を取り巻く環境は、水揚げ環境（魚種・漁況・資源管理・生産者・国際情勢等）や社会構造（魚離れ・縮小する国内マーケット・為替変動等）の変化など大きな波にさらされています。

日々変化する環境のもと、本会は指導・経済事業の強化はもとより、社会からの期待に応えるべく、SDGsと連携したCSR活動の推進やサステナブル社会の実現に向けた取組の推進を図ってきたところではありますが、今後、これらの取組の重要性は益々高まることが想定されます。

こうした点も踏まえ、浜からの負託に応えるため、本年は「持続可能な未来を創る北海道漁業の実現」をスローガンに掲げた中期的事業推進方向の2カ年目として、諸課題の解決に向け積極果敢に取り組むとともに、販売力の強化、財務基盤の強化にも取り組んでいきます。

併せて、職員教育の継続及び業・事務の合理化を推進していくとともに、ぎょれんグループ全体の総合的な危機管理体制の拡充を図ります。

（1）経営基盤の強化

- ①漁業生産の回復に向けた増養殖やスマー卜漁業等の先行事例に関する情報の収集や発信強化
- ②共販体制及び系統利用率向上を目的とした取組継続

（3）CSR活動の取組強化（SDGsとの連携）

- ①環境方針に配慮した事業運営
- ア・海洋環境の保全に向けた脱・抑プラスチック運動の継続
- イ・植樹活動・省エネルギー対策・5Rの継続
- ウ・カーボンニュートラル実現に向けた各種取組の検討
- エ・企業価値並びに認知度向上に向けた本会CSR活動の発信強化

（2）本会グループ危機管理体制の拡充

- ①コンプライアンス（法令順守）経営の継続
- ②経営管理機能の強化、リスク管理の徹底
- ③取引先の情報掌握及び債権管理の徹底

④生産性の向上に向けた取組強化

- ア・人材育成計画に基づいた職員教育による人材力強化の継続
- イ・本会グループレベルでの事業強化に向けた適材人員の配置、業務体制の構築
- ウ・DX推進による業・事務合理化
- エ・効率的な業務体制の確立とコスト削減対策

②社会との共生に向けた取組推進

ア・地域社会への貢献に向けた取組推進



ほたての貝殻を使用した「医療用メディカルペール(感染性廃棄物用の密閉容器)」を恵佑会札幌病院・北大病院へ寄贈



各地で展示会を実施しています

（4）漁業用燃油

- ①共有燃油施設再編整備計画の実施による利用率向上
- ②系統燃油施設の保全管理強化

（5）施設・機器

- ①省力化機器の普及拡大（船舶用高圧洗浄機、ほたて耳吊用穴あけ機等）
- ②AI技術の応用や海難事故減少に向けた位置情報管理機器の普及
- ③設計業務（工場・事務所等）と機器導入の利用推進

今後を担う新採用漁協職員を対象に一斉研修

「令和6年度 全道漁協新採用職員研修会」を開催しました

04

4月3日(水)～5日(金)までの3日間、全道漁協の新採用職員を主な対象とした「令和6年度 全道漁協新採用職員研修会」(主催:ぎょれん指導教育部)が札幌市の第二水産ビルで開催されました。

初日は「漁業・漁協をめぐる情勢」、「漁協のあらまし」、「定款と水協法」、「漁協のコンプライアンス」など水産業や漁協全般に関する基礎的な部分について勉強すると、二日目は(株)人事マネジメント研究所の宮島氏を講師に迎え、「社会人としての心構え」、「職場のマナー」について指導を受けました。そして、最終日は「札幌市中央卸売市場の見学」や「系統各連の事業説明」を通じて漁協職員ならではの必要な知識を熱心に学びました。

研修に参加した新採用職員の皆さんには、仲間たちと共に学んだ3日間の経験を活かし、今後の各漁協での末永いご活躍を期待致します。



今年度は37名の新採用職員が研修に参加しました

ほたてを食べて抽選でほたてグッズをプレゼント

「冬は北海道のほたてで ほっ」キャンペーンが盛況のうちに終了

05

北海道ほたて漁業振興協会(事務局:ぎょれん販売第一部)が本年1月25日(木)から実施していた「冬は北海道のほたてで ほっ」プレゼントキャンペーンが3月10日(日)をもって終了しました。

本キャンペーンは、北海道産のほたてを食べて応援して下さる消費者の方へ、生産者から感謝の気持ちを込めて行われたもので、道産ほたて製品200円以上を購入された方を対象に、LINEとXといったSNSを通じてご応募いただくキャンペーン。ご参加いただいた方の中から北海道の海の幸セットや、海洋プラスチックをリサイクルして素材に使用したオリジナルのエコバッグ、ほたての殻の粉末を使用した箸などのほたてグッズが総勢340名の方に抽選でプレゼントされました。

キャンペーンは終了しましたが、ぎょれんでは引き続き北海道ほたて漁業振興協会と共にSNS・インフルエンサーなどを効果的に活用した消費者の購買意欲の向上・喫食機会の創出に向けた情報発信を行っていきます。

プレゼント商品の一部



海洋プラスチックリサイクル材を40%使用したエコバッグ



オリジナルデザインのマグカップペアセット

全道9カ所で地区組合長会議を開催

令和6年度のぎょれん事業計画などを説明しました

01

4月4日(木)～23日(火)にかけて、全道各地区で地区組合長会議が開催され、ぎょれんは2班に分かれて各地区の会議に出席しました。会議では令和5年度の決算見込み及び剰余金処分の考え方について、令和6年度事業計画の基本的な考え方などについて説明を行い、各漁協幹部の皆さま方と意見を出し合ったほか、近年の資源管理の動向などについて報告を行いました。

今後は各浜から寄せられたご意見・ご提言を活かしながら事業計画を策定し、今年度の事業を推進していきます。



4月8日(月)に行われた根室地区組合長会議の様子

地下鉄さっぽろ駅やJR新千歳空港駅で認知度向上と消費拡大

「北海道産の秋鮭・ほたて・昆布」のPR動画がリニューアルしました

02

道内外から訪れる観光客より交通の拠点として利用されている地下鉄さっぽろ駅とJR新千歳空港駅。ぎょれんでは、これまでも道産水産物の認知度向上と消費拡大に向け、同施設内で展開されているデジタルサイネージや大型ビジョンにて「北海道産の秋鮭・ほたて・昆布」のPR動画を放送していましたが、よりユニークで印象的な内容へ一新し、3月25日(月)から放送を開始しています。

この度のリニューアルでは、アート・エンターテインメント性の高いフード動画制作や配信を手掛けることで有名なTastemade Japan(株)とコラボレーションし、道産の「秋鮭・いくら」、「ほたて」、「昆布」、それぞれの素材の美しさを活かしたユニークで印象的な動画となっており、これまで以上に視聴者の興味や関心を惹きつける内容となりました。こちらの動画はぎょれんの公式YouTubeチャンネルからも視聴可能ですので、ぜひこの機会にご覧下さい。



JR新千歳空港駅の改札前に設置されている大型ビジョン

ぎょれん公式
YouTubeチャンネル



今後の販路や消費の拡大、販売体制の足掛かりへ

えりも漁協が近年豊漁のおおずわいがにを全町民へ配布しました

03

令和3年秋に本道太平洋沿岸で大規模な赤潮が発生して以降、えりも海域で急激に獲れている「おおずわいがに」。えりも漁協(坂本好則組合長)ではこのおおずわいがにの有効利用を図るため、販路や消費の拡大、そして付加価値対策の一環として、3月23日(土)、町内7カ所で全町民1人につき1尾を無料配布するイベントを開催しました。

この度配布されたのは、大サイズ(甲幅10cm以上)の活おおずわいがにで、同漁協と関係漁業者は、まずは町民にその美味しさを広く知ってもらいたいとの思いから全町民約4200人に配布することを決めました。また、当日は漁協直売店で町外からの来店者に先着でおおずわいがにを配布するなど、今後の安定した販売体制の構築へ向け、積極的にPRを行いました。



配布会場にはバケツや袋を片手に、多くの町民が訪れました

シークワードクイズ

5月のテーマ「文房具」

5月は「文房具」がテーマです。昭和は個性的な文房具が多かったです。象が踏んでも壊れない筆箱とか?!
図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。
どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

コ	バ	デ	フ	ミ	ス	ヨ
ス	ト	デ	シ	マ	シ	ワ
タ	ペ	ツ	グ	キ	エ	ゴ
ン	ン	ネ	レ	ス	シ	ム
プ	ツ	リ	ク	パ	ピ	ゴ
ト	ノ	ン	チ	ン	ブ	シ
ツ	ン	ペ	ウ	コ	イ	ケ

リスト

- ☐ クリップ(クリップ)
- ☐ ケイコウペン(蛍光ペン)
- ☐ ケシゴム(消しゴム)
- ☐ コンパス
- ☐ シキシ(色紙)
- ☐ スタンプ
- ☐ スミ(墨)
- ☐ ノリ(糊)
- ☐ パレット(パレット)
- ☐ フデバコ(筆箱)
- ☐ フデペン(筆ペン)
- ☐ ブンチン(文鎮)
- ☐ マグネット(マグネット)
- ☐ リレキシヨ(履歴書)
- ☐ ワゴム(輪ゴム)

〈ヒント〉くびちゃんばで連想できる方もいらっしゃるよ。

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

ク	レ	ン	ギ	ヨ	ウ	キ
サ	ミ	ス	ア	ツ	ズ	ン
グ	ス	ン	ワ	ミ	ウ	ヤ
ナ	ズ	シ	ナ	コ	エ	ラ
レ	ラ	ハ	デ	ザ	ヤ	ト
ス	ン	マ	ク	ン	ベ	ミ
ワ	リ	イ	ラ	ツ	ク	

4月号の解答と当選者 クンシラン

(泊 村)秋 山 祐 子さん
(湧 別 町)齊 藤 啓 太さん
(紋 別 市)しゃ け フレークさん
(島 牧 村)高 島 里 子さん
(厚 岸 町)しー ちゃんさん

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえたと答え(魚の名前)になります。

例 題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

リスト

- ☐ アキアジ
- ☐ コマイ
- ☐ プリ
- ☐ サンマ
- ☐ コンブ
- ☐ アサリ

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 浜の家族物語

おかだ 稚内漁協 岡田さんご家族



【岡田さんご一家】 岡田 慎平さん(39歳)、好恵さん(36歳)、海那ちゃん(15歳)、琉那ちゃん(12歳)

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、稚内漁協の岡田さんご一家です。

待っている家族のためにも一層の努力を

中学生の頃にはお父さまの背中に憧れ、漁師を志していたという慎平さん。地元の高校卒業後は鹿部の漁業研修所へ入所し、研修を終えて地元に戻るとすぐに漁師の道へ。慎平さんが19歳のときです。以来、ご実家や5歳年上のお兄さんの漁を手伝いながら、現在は令和4年に新造船した「第十八 海琉」による春と夏のなまこ桁曳き網漁を中心に、昆布漁やたらばがにの刺網漁なども営んでいます。すでに人生の半分以上の時間を漁師として生きてきた慎平さんに、これまでで一番嬉しかったことをお聞きすると、真っ先にこの新造船の話が出てきました。船名は二人の娘さん、海那ちゃん、琉那ちゃんの名前から一文字ずつをとって命名。この新造船を機に、沖に出ていても待っている家族のために必ず無事に家に帰ること、そして、今後の一層の努力を誓ったそうです。

一人前になって浜や家族に恩返し

そんな慎平さんと娘さんを温かく見守り、とき

に陸周りの作業で仕事も支えるのが妻の好恵さん。二人の出会いは、好恵さんが高校卒業後に就職した会社でした。実はその会社は、慎平さんが高校生の頃から続けていたアルバイト先。当時、すでに慎平さんは漁師として働いていましたが、冬の間だけ手伝いに行っており、その時に偶然出会ったそうです。その後は2年ほど交際を重ねて、結婚。二人のお子さまにも恵まれ、この春からは長女の高那ちゃんは高校、次女の琉那ちゃんは中学校へそれぞれ進学し、勉強や部活動も頑張っています。そして、海那ちゃんは「漁師になりたい」と話しているそうで、慎平さんと好恵さんは「高校を卒業しても、まだ本気で考えるなら応援してあげたい」と言います。

最後に慎平さんに将来の目標を伺うと、「20年経ってもまだ分からないことだらけ。妻や両親をはじめ、周囲の支えがあって今の自分は漁師を続けることができています。海水温の上昇など、日々環境の変化にも意識を向けながら、一人前になって浜や家族に恩返ししたい」とのことでした。



編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん5月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）
- ②11ページのシークワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉5月24日までにお送りください。

（郵便）〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎよれん 総務企画部 広報担当

（FAX）011-242-3543

（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違いさがしの答え



新3年生になりました。勉強がんばります。GW晴れますように……☆
（厚岸町 しーちゃんさん 8歳）

紋別では今年とても流水が長い期間ありましたが、その流水ももう無くなり船が本格的に動き始めました。祖父と父が取ってきてくれる鮭は毎年とても美味しいです。今年も安全第一で頑張つて欲しいと願っています。大漁祈願!!
（紋別市 しゃけフレクさん 24歳）

みなさんのお便りでつくるページです。

なみまるおたより箱



新年度がはじまりました!!ピカピカの小学生があるいており、ほっこりしますね。さてさて耳吊りもだいぶ?!進んでいるような気がします!まだまだかかりますが頑張ろう!!
（八雲町 平井洋子さん）

浜のお母さんレシビ、シークワードクイズと間違えさがしを毎月楽しみにしています。浜のレシビは品物が手に入らないので作る事は出来ませんが、ホタテのチリソースは大好きでスーパで買って食べてます。
（泊村 秋山祐子さん 89歳）

浜の家族の写真が大好きです。今月号は表紙を見てビックリ隣に住んでいる孫にそっくりで、じいじと二人で似ているわねと話しています。孫は今年一学生です。
（島牧村 高島里子さん 73歳）

今年度もよろしく願っています

北海道のおさかなキャラクター



編集後記



先日、子どもたちの春休みを利用して、家族みんなで白老町にあるウポポイ（民族共生象徴空間）に行ってきました。2020年にオープンしてから、一度は行ってみたいと思っていたが、なかなか機会に恵まれず、私も妻もようやく初訪問。小学校や中学校の修学旅行で行ったことのある下の子どもたちにも案内してもらいながら、体験プログラムに参加したり、広い施設内をゆつくり見学することができ、良い経験になりました。
（古村）

今年度からボランティアで札幌市のスポーツ指導員をしています。これまでも個別に指導することはありましたが、多人数を相手に教室で教えるとなると勝手が違います。説明のし過ぎもどうかと思いますし、見様見真似でやっていくのも今の時代にそぐわないような……。試行錯誤の春です。
（藤江）

さあ出港 漁のお伴に 救命胴衣

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

大漁祈願!

news

浜のほつとニュース

小樽

4月中旬でにしん刺網漁が終漁となりました。例年よりも水揚げが多く、活気溢れる2カ月半となりました。4月中旬になり、ほたて稚貝の出荷が本格化しています。時化もありますが、今のところ順調な出荷が行われています。一方、4月下旬からは小女子漁、わかさぎ漁が始まります。春漁を迎え忙しいシーズンですが、安全な操業と順調な水揚げとなることを祈念しています。

室蘭

4月上旬から春定置網漁の水揚げが始まり、室蘭の市場では本ます、ときさけ、ますのすけ、宗八の水揚げが増加してきました。4月中旬にはつぶかご漁が本格化し、茶つぶ等まとまった水揚げとなっています。噴火湾地区ではほたて加工具の出荷を終え、稚貝耳づり作業が順次始まっています。今後の豊漁を願うとともに、生産者の皆様の安全操業を心より祈願しています。

函館

春の訪れとともに浜で活気が生まれています。漁期後半の噴火湾のほたて漁は、安定した水揚げが続き、価格も上昇しています。南かやべ漁協の「大謀網」では、今年の春は特ににしんが豊漁で、浜は賑わいを見せています。この豊漁が続くことを期待し、安全な操業が行われることを切に願っています。

梶山

桜の便りとともに、春の訪れを感じさせるほっけやにしんの水揚げが増えてきました。さくらますの水揚げも増え、市場では大型サイズの本ますが買入達の注目を集め、高値がつけられています。春漁が豊漁となり、安全な操業が続くことを願っています。

日高

例年桜前線の北上と前後して春定置網漁が始まり、既に各浜では操業に向けて網入の準備が進められています。昨年はさくらますの水揚げが近年で一番の豊漁となり、本年も浜の期待は大きく膨らんでいます。一方、昨年水揚げが減少した時鮭と青ますの水揚げ回復に期待する声も聞かれています。本年も春定置網漁の豊漁と、皆様の安全操業を祈願しています。

釧路

4月に入り徐々に暖かくなり、さけ・ます流し網漁が昨年より1週間早い4月3日から開始されました。一方、4月下旬ごろからは春定置網漁が開始される予定で、いよいよ春本番を迎えます。さけ・ます流し網漁、春定置網漁ともに昨年を上回る水揚げを願うとともに、生産者皆様の安全操業を心から祈念しています。

根室

日本200海里内さけ・ます流し網漁が4月3日午前0時に解禁となり、管内からは14隻中13隻が大勢の家族、関係者に見守られながら出港しました。4月5日に初水揚げがあり、ときしらすの浜値は昨年を上回りました。気温も少しずつ上がり始めていますが、体調管理に留意し、益々の豊漁を祈願しています。

北見

オホーツク海にも少しずつ春の兆しを感じられるようになりました。ほたての稚貝放流も始まり、4年後の豊漁を願い、浜一丸となって取り組んでいます。一方、毛がに籠漁、底曳網漁、刺網漁やほっけ漁に加え、春定置漁等も始まり浜は賑わいをみせています。今後忙しさが増えますが、安全操業と豊漁を心より祈願しています。

稚内

オホーツク地区では、毛がに籠漁の水揚げが無事終漁を迎えました。ほたて漁は、稚貝撒きも順調に進み、これから漁が本格化していきます。利礼地区では、今月からほっけ刺網・巻網漁が始まり、来月からうに漁が解禁となります。豊漁となることを期待しています。

留萌

ほたて稚貝出荷が3月28日、遠別地区を皮切りにスタートしました。当初は時化が続きましたが、4月4日以降は時化も少なく各地区順調に出荷が行われ、ここ数年では最速のペースで出荷が進んでいます。皆さん、連日の出荷作業で疲れが溜まっていると思いますが、事故もなく無事、今年の稚貝出荷が終了することを心より祈念しています。

ひやま漁協
田畑 美智子さん



たこマリネ

今回は「たこマリネ」をご紹介します。

手順はシンプルですが、あざやかな彩りで食も進みます。

酢の酸味でさっぱりとした味わいになっています。



材料 4人分

玉ねぎ……………1個 (マリネ液の分量) *1
ピーマン……………1個 酢……………40cc
パプリカ(赤・黄) 各1個 砂糖……………大さじ2
たこ足(ゆでたもの) 2本 塩……………小さじ1
オリーブオイル ……40cc

作り方

- ① 玉ねぎを半分に切り、薄切りにして水にさらしておく。
- ② ピーマンとパプリカを細切りにする。
- ③ たこの足を食べやすい大きさに薄切りする。
- ④ マリネ液を作る。*1
- ⑤ 材料とマリネ液を混ぜて、味をなじませたら出来上がり。